

# 令和 3 年 度

(自 令和 3 年 4 月 1 日～至 令和 4 年 3 月 31 日)

## 事 業 報 告 書

公益財団法人 京都国際学生の家

## 事業報告書

当法人は、「京都に学ぶ各国学生の健全で有意義な共同生活を助成するとともに、その知性、徳性及び靈性の向上をはかり、併せて国際親善と相互理解の増進とに寄与し、もって不特定多数の公益に寄与することを目的とする。」（定款第3条）ことを目的としている。

世界各国から国際学術都市京都に來り学ぶ外国人学生と日本人学生に、学寮という生活の場を提供し、月間・年間を通じた行事や毎日の地道な活動を通じて、ハウスの創始者であるスイス人牧師、故ウエルナー・コーラ（Werner Kohler）博士の提唱した「共同の生」を体験させることによって、この国際理解と親善の増進を計る。この「共同の生」とは、我々の現存在の表面的な調和的共存を意味しているのではなく、異なる国家あるいは民族の間に厳然として存在する人種、宗教、慣習、文化さらにはイデオロギーといったものの相違を、寮生相互に対決（confront）させ、これらの相違を互いに認め合った上で、一個の人格としての「出会い（Begegnung）」を体験させることである。この「出会い」を通じて、相互の相違を認識し、相互に承認し合うという、きわめて厳しい努力と体験を通じて得られる寛容（Tolerance）が、人類普遍の願望である人類共存の道を達成する有力な手段であると信じ、この「出会いの家（別称）」という屋根の下で営まれる「共同の生」の実現と維持を続けている。開館以来 56 年間に、寮生用 34 室を利用した寮生は世界の 83 ケ国から 1062 名、併設されている研究員用 11 室を利用した学者、研究者は 96 ケ国から 3095 名の多きにのぼる。これらの寮生、研究者達は、京都における学際的研さんの成果と共に、この「家」で体験した人間同士の愛と連帯意識をもって世界中で活躍している。

半世紀が過ぎ、建物は老朽化し、耐震補強や電気・水道などを改修する「本館の耐震改修」と「研究者棟の建て替え」に直面し、募金委員会を 2017 年 6 月に立ち上げ、本格的な寄付活動を行ってきた。「国際平和」の実現を祈念して、今後も世界の若者に本学寮を提供するため、京都商工会議所の賛同を得て、京都の企業を中心に募金活動を実施し、本館の耐震改修工事を行った。

新型コロナウイルスのパンデミックによりこの二年ほど、海外渡航が制限され、寮生、スカラーが入ってこないという経済的な非常事態に陥っていた。しかし、2/3 のレジデントではあったものの、（独）日本学生支援機構留学生地域交流事業助成金やクラウドファンディングによって得られた活動資金を活用して、国際交流事業は継続することができた。

## I. 事業の概況

### 1) 学生及び研究者の国際交流の場としての宿泊施設の設置及び運営

#### (1) 京都「国際学生の家」

	学生用	研究者用	備 考
収容定員	34 室	11 室	研究者用にはツインルーム 3 室あり

#### (2) 利用状況

○学生の部（令和3年4月より令和4年3月）

国 別	人員	研 究 機 関 別	人員
日本	13	京都大学	18
中国	5	京都産業大学	1
台湾	2	京都情報大学院大学	1
韓国	1	同志社大学	3
ベトナム	1	同志社女子大学	2
ウガンダ	1	放送大学	1
アメリカ	2	立命館大学	2
シンガポール	1		
インド	2		
合 計	28	合 計	28

○研究者・学者の部

台湾	1
日本	1
合 計	2

#### (3) 学生及び研究者の生活・勉学の援助及びカウンセリング

原則として、一家族が、ハウスペアレント（学寮管理者）として、学寮内に居住して、寮生の生活のアドバイス、勉学援助やカウンセリングなどに当たっている。そのハウスペアレントを補助する機関として、学生の入寮時の面接、カウンセリングなどを行う学寮運営委員会（ハウスコミッティー）が組織され、活動している。

#### (4) 行事・活動：

下記のような月間・年間を通じた行事や日常活動を通じて、異なる国家あるいは民族の間に厳然として存在する人種、宗教、慣習、文化さらにはイデオロギーといったものの相違を、入寮学生・研究者相互に対決させ、これらの相違を互いに認め合った上で、一個の人格として出会う「共同の生」を体験させている。この様な相互の相違を認識し、相互に承認し合うという、きわめて厳しい努力と体験を通じて得られる寛容が、人類普遍の願望である人類共存の道を達成する有力な手段であり、このことが同じ屋根の下で営まれる「共同の生」を通じて実現できると期待している。

各寮生には、ハウスの維持のために必要な仕事（当番：例として、ハウスキーパー当番、スポーツ当番、コモンミール当番など）を分担させている。また、一緒に食事や音楽、スポーツ等を楽しめるような共有設備（共有台所、ピアノ、広い応接室、卓球台、ビリヤード、バレーボールコート等）を備え、自然に「共同の生」に参加できるような仕組みとしている。

※本年の行事の内、コモンミール、国際食べ物祭り、感謝祭、クリスマス・パーティーは「(公財) 中島記念国際交流財団助成」(独) 日本学生支援機構留学生地域交流事業助成金により実施された。

#### ① 月間定例行事

##### ○ほぼ月に2回 19:30~21:00 チーム・ミーティング

半期ごとに学生から選出されたチェアパーソン、バイスチェアパーソン、書記、会計とハウスペアレントがチームという自治組織を作り、全員参加のハウス・ミーティングの前に、ハウスで起こる諸問題やセミナー等を含めた種々の行事の打ち合わせを行っている。

##### ○ほぼ月に2回 18:30~20:30 コモン・ミール（夕食会）

「コモンミール」は、当番制で作る寮生の自国料理を皆で楽しむ夕食会のことで、寮生達が友好を深め、異なった国々の文化を理解する第一歩であり、「共同の生」の入り口であると考えている。皆と一緒に「会食をする」ということは、多様な地域の文化・慣習・宗教などを一番簡単に、しかも深く感じることでできる行為だと私たちは考えて行っている。※但し2021年度はコロナの影響により一部オンラインにて開催。

○ほぼ月に2回 20:30~22:00 ハウス・ミーティング

コモンミールの後に、ハウスペアレントも含めて、寮生全員参加の一番重要な会議である。寮生のチェアパーソンを議長に、ハウスで起こる諸問題を取り上げ、全員で議論を闘わせ、解決への努力をしながら「共同の生」を体感している。※但し2021年度はコロナの影響により一部オンラインにて開催。

## ② 年間定例行事

○新入生歓迎会：令和3年4月9日（金）、令和3年10月8日（金）

前期と後期で年に2回、寮の理事やハウスコミッティの委員が参加。理事長や理事の挨拶後、国際寮の生活に早く馴染めるよう、寮生の委員によるハウスのガイダンス、及び新入生の自己紹介等が行なわれた。

○スポーツ大会：令和3年5月16日（土）

本年は春に一度、スポーツを通じて、寮生達の交流と親睦を兼ねたスポーツ大会を行った。ハイキングの予定が、雨のため屋内でのレクリエーションに変更されたが、寮生一同多いに楽しんだ。

○国際食べ物祭り：令和3年8月7日（土）

「食を通じた国際親善活動」と位置づけられている行事で、各国(9~10カ国)留学生のお国自慢の料理を、ダンスパーティ等でご迷惑をお掛けしているHdB周辺の住民の皆さんや、寄附を下さった方々や友人を招待して、食を通じて、寮の雰囲気や世界を実感してもらう定例行事。本年度はコロナの影響もありその場での飲食は避け、持ち帰りのお惣菜を作り交流を楽しんだ。

○感謝祭：令和3年11月20日（土）

学寮に寄附して下さった方々や団体、日頃お世話になっている人達をご招待して、各国のお国自慢の料理の腕を振るい、感謝の気持ちと学寮が多くの人達の善意で成立していることを理解する定例行事が行われた。本年度はコロナの影響もありその場での飲食は避け、お弁当を作り持ち帰っていただいた。

○セミナー：

市民公開講座：令和3年7月17日（土）

・吉村一良教授（京都大学）「超電導とハウスと私」

- ・楊明教授(東京都立大学)「ウィズコロナ社会に貢献するものづくり技術」
- ・前川佳代子氏((公財)京都日本語教育センター)「京都国際学生の家の経験から得たもの」
- ・寮生3人(外国人留学生と日本人学生)

日本庭園講習：令和3年11月13日(土)

庭師の中村長太郎氏を講師に迎え、日本の庭園の歴史、茶道の紹介を行った。また同日中村氏の指導のもと、寮生たちの手によってハウスの庭園を伐採、剪定した。庭が見違えた様に寮生たちも非常に喜んだ。

○トリップ：令和3年12月11日(土)、12日(日)

伊賀市、曾爾高原、宇陀市をまわり、伊賀城の見学やハイキングなどを行った。宿は国立曾爾少年自然の家に宿泊し、夜の天体観測などをし、寮生達は交流を深めた。

○クリスマス・パーティ：令和3年12月18日(金)

日本的な意味でのクリスマスの名を借りた寮生達の「忘年会」である。本年はコロナの影響もあり招待客を少人数に限定し、感染対策を講じた上で行った。自慢の料理やケーキを作り、一緒に食事をし、余興など、一年を振り返りながら、親睦を図る楽しい行事であった。

○クリーニング・デイ：令和3年8月8日(日)、令和4年1月22日(土)

年に2度、寮生全員で、学寮の共有スペースである卓球室、ビリヤード室、応接室、運動場、洗濯室などを清掃する。自分たちの生活空間を自分たちで、清掃し、整理整頓にすることで、生活空間を快適にする目的で行った。

### ③ 図書 の 刊 行 頒 布

会誌等の刊行：「2021年度 YEAR BOOK」の刊行。

学寮の公式の出版物である。一年間の学生達の活動報告や、元寮生の経験談、寮としての公式の活動を記録して、関係者に配布して、学寮の活動を理解して頂く出版物である。本年は二年にわたるクラウドファンディングの報告や第3回市民公開講座を特集にして、コロナの影響で寮生が少なかったことで学生文集も兼ねて発行することとなった。

## 2) 不動産等の管理と運営

行事・活動：

寮の空きスペースを利用して、駐車場を設置し、後援会会員に貸与を行っている。区画数 29 台あり、空きが出た場合には、駐車場に掲示するとともに、近隣住民の後援会会員に連絡し、募集を行っている。

## II. 庶務の概要

### 1) 役員

理事長	内海博司	京都大学名誉教授
常務理事	吉川晃史	関西学院大学教授、公認会計士
理事	ベディ成守	ハウスファザー
	上村多恵子	京南倉庫(株)代表取締役社長
	嘉田良平	四条畷学園大学教授
	吉村一良	京都大学教授
	RUSTERHOLZ Andreas	関西学院大学文学部教授
	永井千秋	(公財)新産業創造研究機構 技術アドバイザー

監事	浅田拓史	大阪経済大学准教授、公認会計士
	折田康広	弁護士
	秋津元輝	京都大学教授

学寮運営委員長	山田祐仁	学校法人辻料理学館
学寮運営委員	坂口貴司	三菱電機(株)
	鈴木あるの	京都橘大学教授
	タナゴナン ジーン	近畿大学講師
	デイヴィス ピーター	テレコグニックス CEO
	戸口田 淳也	京都大学名誉教授
	松橋 眞生	京都大学准教授
	長谷川 真人	京都大学教授
	北島 薫	京都大学教授
	崔 英樹	京都市職員
	金 広文	京都大学経営管理大学院特命教授

### 2) 評議員

	吉田和男	京都大学名誉教授
	山田祐仁	学校法人辻料理学館
	平野克己	日本塗装機械工業会専務理事
	村田翼夫	筑波大学名誉教授
	深海八郎	眺八海倶楽部総支配人



3) 顧問	所 久 雄	社会福祉法人 京都国際社会福祉協力会理事長
	平 松 幸 三	京都大学名誉教授
	森 棟 公 夫	梶山女学園大学教授
	柴 田 光 蔵	京都大学名誉教授
	岩 崎 隆 二	和晃技研(株)代表取締役社長
	諏 訪 共 香	日本語教師
	西 尾 英之助	京都日独協会会長
	中 島 理一郎	元同志社大学教授
	蔦 田 正 人	蔦田内外国特許事務所代表

4) 職員

氏 名	担 当 事 務	備 考
水谷内 典 子 吉 竹 慶 一	法人事務及び経理事務等 学寮の維持管理（学寮外周り）	

5) 後援会員 （詳細についてはイヤーブックに記載。）

法人会員	10
個人会員	50
OB会員	980

6) 理事会

回・年 月 日	議 題	結 果
第 26 回 令和 3.5.15	1. 第 25 回理事会議事録の承認の件 2. 令和 2 年度事業報告の件 3. 令和 2 年度決算報告の件	承認 承認 承認
第 27 回 令和 3.6.28	1. 理事長選任の件 2. 常務理事選任の件	承認 承認
第 28 回 令和 3.12.18	1. 第 26,27 回理事会議事録の承認の件 2. スカラー枠の拡張について 3. スカラールームの研究室への貸出契約について	承認 承認 承認

第 29 回 令和 4.3.19	1.第 28 回理事会議事録の承認の件	承認
	2.令和 3 年度事業計画について	承認
	3.令和 3 年度予算について	承認
	4.スカラー枠の拡張について	承認
	5.スカラールームの改修について	承認
	6.次期ハウスペアレンツについて	承認
	7.学寮管理運営規定及び学寮運営委員会規定改訂について	承認

7) 行政官庁の指示に関する事項

該当なし

8) 契約に関する事項

該当なし

9) 寄附金等に関する事項

(1) 寄附金・寄附物品（使途指定なし）

寄附者（敬称略・順不同）：財団の維持及び活動経費として受け入れ、目的に応じて支出した。

上田学、福本和久、平松幸三、岡本徳子、木原文太左右衛門、置田和永、松田敬一、小谷夏美、西本太観、藪田定男、倉田麻里、石原ゆき子、かまの外科医院、渡邊恵子、岩沼省吾、木葉丈司、吉村俊之、十河智江子、寺本美智子、坂野泰治、佐々木正夫、山下進一、中久木裕子、窪田弘、森棟公夫、竹田洋子、辻正樹、高田徳子、琴浦良彦、岡本修身、文字健二、近藤哲理、金盛彦、村上雅子、山岸秀夫、小西淳二、谷幸治、鈴木松郎、平田康夫、鈴木武夫、山本雅英、田中徳壽、澤田正樹、朝倉寛之、前上英二、成田康昭、丹羽太貫、社会福祉法人サン・アス会理事長吉川昭一、永井千秋、小川侃、松成亮太、松成亮太、近藤敬司、内藤義弘、かまの外科鎌野、土居貞往、後藤隆騎、株式会社三悦樋田浩三、賛志会宮本圭子、有限会社ハイナン土屋俊宏、賛志会大野詩子、山本慶一・夏子、大橋禮子、村田翼夫、山田有信、CHANGCHEWCHIN、田森行男、丹羽太貫、小野公二、AndresFukazawa、HEINRICHEINFRIED、橋本求、古川千佳、奈倉道隆、坂口貴司、楊明、木葉丈司、前川佳世子、楊方、吉川晃史、村田翼夫、嘉田良平、内海博司、吉村一良、古川彰・千佳、大西正哉、木葉丈司、内海博司、内海博司、野田和伸、Kanekokoichi、村瀬徹、王柳蘭、内藤義弘、田野かおり、市川裕康、原口航、深海

八郎、佐藤文彦、平野克己、内海仁美、藤田昌史、小島和典、安永昌史、孫曉萌、村上響、前博之、伊藤宏樹、置田和永、齊藤眞弘、和田浩一、大槻憲弘、YoshidaNoah、吉川晃史、松成亮太、杉山茂、鈴木あるの、内海博司、吉川昭一、行實誠、NeoEngChong、陸川良子、中西電建株式会社、匿名 一名

合計 3,185,000 円

(2) 補助金・援助金

補助金の目的	補助者	補助金額	備考
留学生地域交流事業	日本学生支援機構	397,161 円	食文化を中心に据えた国際交流と地域との共生事業

10) 基本金に関する事項

本年度末現在の基本金は下記のとおり。(円)

区分	項目	金額
基本金	ライオンズクラブ (27LC) 京都、西、南、洛南、洛陽、鴨川、桂、北桑田、洛東、堀川、東、華頂、洛中、みやこ、岡崎、平安、葵、橘、紫明、北、洛北、桃山、山城、乙訓、宇治、城陽、綴喜	13,400,000